

ZANDEN Model 120 の展開(65) ーベーターヴェン全集を聴く(65)ー

1. 始めに

前報(64)に引き続き、ベーターヴェン全集を集中的に聴いていきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

音源としては、ベーターヴェンのヴァイオリンソナタ、チェロソナタ、変奏曲などを聴いていきます。これらは、Y 氏から頂戴したものです。

ドイツグラモフォン MG9579

チェロソナタ第 5 番ニ長調

ユダス・マカベウスの主題によるピアノとチェロのための 12 の変奏曲ト長調

魔笛の主題によるピアノとチェロのための 12 の変奏曲ヘ長調

ウイルヘルム・ケンブ(ピアノ)

ピエール・フルニエ(チェロ)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、前報(1)と同じく、TELDEC の逆相、第 4 時定数は Mid で聴いていきます。

チェロソナタ第 5 番は、いきなり激しく勢いのある主題から始まり、2 楽章は静かに抒情的に歌い、3 楽章で快活な勢いを取り戻します。

ユダス・マカベウスの主題によるピアノとチェロのための 12 の変奏曲は、よく聴く機会があります。主題をピアノとチェロが受け渡ししながら主題の変奏を続けていきます。この変奏の変幻自在な面白さをケンブとフルニエが、味わさせてくれます。

魔笛の主題によるピアノとチェロのための 12 の変奏曲は、お馴染みの魔笛のアリアを主題にして、変幻自在に変奏が繰り広げられ、ケンブとフルニエが楽しく聴かせてくれます。

4. まとめ

今回も、アナログアキュライザーを **TruPhase** の入力側と出力側にセットしたことに加えて LP-12 の軸受けをカルーセルに変更したことから、上記の 3 曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

ベートーヴェンイヤーに遅れること 1 年、65 回にわたってベートーヴェン全集を聴いてきましたが、改めてベートーヴェンの偉大さを再確認でき、あまり演奏されない曲の中にも傑作があることが分かりました。また、このシリーズを通じて **ZANDEN Model120** と **TruPhase** の導入、ならびに **LINN LP-12** の改造の効果を総合的に確認できました。ベートーヴェン全集の提供をいただいた Y 氏に改めて感謝の意を表したいと思います。

以上